



主題：「響き合い、ともに歩む」

“Walk Together, Echoing Each Other”



道頓堀の遊歩道

— 心豊かにワイズ活動を展開し、ワイズスピリットをつないでいく —
— Promote the Y's movement thoughtfully and hand down the Y's spirit —

8月7日から10日までの4日間、インド南部のチェンナイで国際大会が開催され、これに出席しました。この国際大会への参加登録者数は、アジア106名（うち、日本は東西合わせて55名）、アフリカ24名、カナダ・カリブ2名、ヨーロッパ40名、韓国21名、アメリカ4名、ラテンアメリカ2名、南太平洋5名、開催国インド149名の合計353名でした。ワイズ発祥の地アメリカからの参加者が極めて少ないのは驚きであり、考えさせられることでもありました。同時開催のインターナショナルユースコンボケーション（IYC）への参加者数は、日本のユース10名を含む、約100名でした。

チェンナイは、インド4番目の大都市とされていますが、高い建物が少なく、イギリス植民地当時の兵舎跡地が広々とした公園になっていることなどもあって緑が豊かでゆったりとした街です。

インド国際大会のスピーチ部門では、インドYMCA評議会議長が来賓祝辞においてYMCAとワイズメンズクラブの相互扶助がこれからのYMCA活動においても大事なことであり互いに意識することが必要であることを語り、7月1日に就任したばかりのアイザーク・パラシンカル（Isaac Palathinkal）氏が2014-2015国際会長としての想いと活動方針について、主題を「言葉より行動を（Talk Less, Do More）！」としスローガンを「今すぐやろう（Do it Now）！」として熱く語っておられました（国際会長スピーチの詳細は本書末尾に掲載）。晩餐会までのプログラムでも、また、晩餐会でも、音楽や踊りが入る場面があり、国際大会を楽しくて豊かなものにしていました。最終日の早天礼拝で女性による祈りと楽しいゴスペルソングが入り、会場の人たちがこのゴスペルソングに合わせて体をゆすり合唱していたのには本当に驚きでした。このような楽しくて心豊かな早天礼拝もあったのですね。

来年（2015年）の夏、西日本区のホストで京都においてアジア地域大会を持ちます。インド国際大会の晩餐会では、ホスト実行委員会（HCC）委員長の森田美都子ワイズ（京都パレス）をリーダーとして日本人参加者全員が檀上に上がり、アジア地域大会への参加を呼びかける賑やかなアピールをしました。

いよいよ、西日本区9つの部で部会が開催されます。9月はメネット強調月間です。各部でメネットの集まり（メネットアワー）が企画されています。ワイズのみなさまもこれに参加しましょう。部会でワイズやメネットのみなさまにお会いできることを楽しみにしています。

「平成26年8月豪雨」は、各地で大きな災害を発生させました。被災された方々のいたみに心から思いを寄せたいと思います。みなさま、今後とも、十分に気をお付け下さい。

西日本区理事 松本 武彦



9月の強調月間 Menettes

各クラブでメンがメネットの参加を促せる例会の企画を！

メネットは是非例会に参加し、ワイズの醍醐味を味わってください！

まだまだ暑い日が続く9月ですが、こんな時ほどメネットさんのさわやかな風を例会に吹かせてください。メンがメネットさんをお誘いくださるようなわくわくする企画をお考えいただいたり、メネットさんがメンには思いもつかぬような斬新な企画でメンを楽しませたりと、それぞれのクラブで和やかな交流をおはかりください。そして共にワイズ活動の輪の中にあることを再確認していただき、様々なワイズ活動に「二人三脚で」取り組んでいただきますようお願いいたします。メネット国内プロジェクトへのご協力もお忘れなく！プロジェクトについての説明会等の企画も大歓迎です！私達にお手伝いできることがあれば何なりとご連絡ください。そして今期も楽しいメネット活動が各クラブで展開されますよう祈っております。

メネット事業主任 西村寛子（京都プリンスクラブ・メネット）

今月の聖句

疲れた者、重荷を負う者は、だれでもわたしのもとに来なさい。

休ませてあげよう。わたしは柔和で謙遜な者だから、わたしの^{くびき}軛を負い、わたしに学びなさい。そうすれば、あなたがたは安らぎを得られる。

わたしの^{くびき}軛は負いやすく、わたしの荷は軽いからである。

（マタイによる福音書11章 28～30 節）

聖句黙想

イエス・キリストの招待状です。何十年も前からの傷を抱え、絶えず襲ってくる心労に振り回される私たちは、どう自分を守り平安を保つのでしょうか。聖書は自分の全て・ありのままをイエス・キリストに献げなさいと言います。それは自我を手放して祈る「イエスに倣う」決意と実践かと思えます。一旦献げたものは取り返して自分で算段しなくても良いのです。自由を得る軛（くびき）と不自由な軛について考えてみませんか。

西日本区チャプレン 江見 淑子

◇ 各部会開催予定

部	開催日	曜日	開催地:会場	ホストクラブ
中部	2014年8月31日	日	三重県四日市市:都ホテル	四日市
六甲部	2014年9月6日	土	西宮市:関西学院会館	宝塚
阪和部	2014年9月13日	土	和歌山市:(和歌山YMCA 6階ホール)	和歌山
京都部	2014年9月14日	日	京都市:ANAクラウンプラザホテル京都	京都トウビー
中西部	2014年9月20日	土	大阪市:大阪キャッスルホテル錦城閣	大阪
びわこ部	2014年9月21日	日	大津市:大津プリンスホテル	大津
西中国部	2014年9月27日	土	岩国市:岩国YMCA	岩国
九州部	2014年9月28日	日	天草方面:天草クリシタンの歴史探訪	熊本にし
瀬戸山陰部	2014年10月4日	土	鳥取県智頭町:旧山郷小学校跡	鳥取

◇ 広島市8・20 豪雨災害 YMCA緊急支援募金 ご協力をお願い

～ みんなの「助きたい」という気持ちを集めます ～

広島市8・20 豪雨災害に見舞われ、亡くなられた皆様のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。広島YMCAでは、8月19日からの豪雨により被害を受けた被災者の皆様への救済・支援活動のため、次の通り緊急支援募金を開始いたします。皆様のあたたかいご支援・ご協力をお願いいたします。



※現在、広島YMCAスタッフが現地に入り、YMCAとしての支援活動の可能性を調査しています。決まり次第、おってお知らせいたします。

募金期間 2014年8月28日(木)～10月31日(金)

お振込の場合：広島銀行普通 3314351 又は、もみじ銀行普通 3026117

口座名義 (どちらも) 公益財団法人広島YMCA広島市豪雨災害募金 理事長 上久保 昭二

*住所・氏名・電話番号もお忘れなくご記入ください。

*同一銀行本支店間に限り、口座振込手数料は免除となります。

直接お持ちいただく場合：YMCA各部窓口の「広島市豪雨災害募金箱」へお持ちください。

公益財団法人広島YMCAの「募金」につきましては、特定公益増進法人への寄附として、税制上の優遇措置を受けることができます。「寄附金領収書」が必要な方は、ご相談ください。



〒730-8523 広島市中区八丁堀 7-11

TEL 082-228-1151

FAX 082-211-0366

◇ 周年記念例会情報 (2014年8月31日現在)

京都ウエスト	35周年	(未定)
京都トップス	20周年	2015年4月5日(日) ウェスティン都
京都エイブル	25周年	2015年5月16日(土) 京都ホテルオークラ
和歌山	65周年	2014年12月6日(土) グランヴィア和歌山
神戸	85周年	(未定)
神戸メネット	50周年	(未定)
岡山	50周年	2015年5月23日(土) 岡山国際交流センター
東広島	20周年	(未定)
八代	25周年	2014年11月29日
鹿児島	25周年	2015年2月

神戸ワイズメンズクラブ メネット会 50周年記念事業

開催日時 2015年3月14日(土) 午後

開催場所 神戸外国倶楽部



※理事通信8月号で、むさしクラブの20周年記念式典が2015年3月22日となっておりますが、これはむさしクラブの20周年記念式典ではなく、むさしYMCAの20周年記念式典のことでした。訂正してお詫び申し上げます。

◇ DBC事業交流報告

国際・交流事業主任
川本 龍資(名古屋クラブ)

暦の上では「秋」を迎えましたが、まだまだとても暑い日が続いております。皆様如何お過ごしでしょうか？ 各クラブの8月号ブリテンを拝見させていただきますと、8月は「納涼！〇〇例会」と題され、ゲストの方も沢山参加された「楽しい例会」が開催されたことと思います。「楽しい例会が設定され、親しい交わりが展開される！」、これこそワイズの醍醐味だと確信いたします。

さて、昨年度の西日本区岩国大会にて「DBC」を締結されたばかりの「新婚ホヤホヤモード」の九州部・北九州クラブと東日本区関東東部・川越クラブとのDBC交流事業報告書が届きましたので、皆様にご紹介いたします。

2014年7月25日～26日の日程で、北九州クラブ 田中万知子直前会長、大平落ワイズ、宮崎ワイズの3名が、埼玉県川越市をご訪問。(実際には、24日夕刻から始まっていたようです。)

「城下町」つながりで結ばれた両クラブ、川越クラブ吉野会長のご案内にて、川越の街並み「蔵造りの街並み」や「あめ屋横丁」など市内散策、川越祭りを展示した「祭り会館」見学、その後「歓迎夕食会」には川越クラブメンバー全員出席の「お・も・て・な・し・」を受け、自己紹介や両クラブの近況報告等、親しい交わりの時が持たれ、北九州クラブ例会恒例の「童謡唱歌(われはうみのこ)」を全員で合唱すれば、川越クラブ例会恒例の「手打ち」で和気藹々の内にお開き……。素晴らしい交流の時でした。

第一回のDBC交流会にて「お互いに無理のないところで、出来ることをやっぺいこう」と合意に至ったということです。

「クラブの雰囲気も似ているし、メンバーも同じ位の人数ですが、ワイズ活動への行動力や取り組み、目線の高さや視野の広さは、学ぶところが多く、これからの北九州クラブの課題だと感じた。刺激をいただけそうです。」と報告書を結んでおられます。

『出会いがあり → 交流する事によって → 「気付き」を与えられ → 自己の研鑽』というサイクルが、ワイズ活性の秘訣であることを、この報告書を通じて再認識させていただきました。北九州クラブの皆様、ありがとうございました！

◇ 2015-2016年 BF代表 申請開始！

ワイズダム発展のため、日々のご奉仕に感謝申し上げます。国際・交流事業の一環として全世界から集められた、使用済切手と現金によるBF資金を行使するBF代表(BF Delegates)の応募申請が、今年度も開始されました。

■ フルグランツ(BF規定に定める費用全額補助)

NO.	旅行の概要	受入れ地域/区
BF15/16-03 アジア枠	期間：2015年8月-9月 (3-5週間) 目的：エリア大会への参加、クラブ訪問 到着：韓国 インチョン-ギンボーグンサン 出発：韓国 インチョン-ギンボーグンサン	韓国地域 Jeonbuk区
BF15/16-04 アジア枠	期間：2015年9月後半から (3-5週間) 目的：エリア大会・部会への参加、複数回の引継ぎ晚餐会への出席 到着：オーストラリア メルボルン 出発：オーストラリア メルボルン	南太平洋地域

■ パーシャルグラント(BF規定に定める費用一部補助)

BF規定 6.6 及び 7.1.2.2 に基づいて、パーシャルグラントBF代表は、**周辺エリアのエリア大会(2015)**に出席する為、BF代表の費用の一部(600 スイスフラン)を補助します。

※ アジアエリアには、4名分の補助金が割り当てられています。

尚、2015年アジアエリア大会は「京都」開催につき、西日本区メンバーがアジアエリア大会参加のために申請する事は避けるべきと判断しています。

■ 申請応募に関する留意点

- 1.申請期限：10月20日（必要事項を記入した応募書式:BF2-1.2を添付し）西日本区理事宛必着（尚、西日本区理事送り原本のコピーを、国際・交流事業主任および西日本区事務所にもお送り下さい）
- 2.申請条件：・申請者所属クラブの会員一人当たりUS\$5以上のBF献金を達成していること
・英語、又は訪問先の国語が理解でき、社交的でもありコミュニケーションに支障のない事
・申請日時点において **満65才以下**である事（今年から追加されています）

■ 応募についての詳しい内容・方法等については、事業主任及び西日本区事務所にお問合せ下さい。

ワイズ運動が世界に広がっていることを体験できる我々に与えられている特権です。自薦・他薦を問いません。多くのワイズメンのご応募をお待ちしています。

（国際・交流事業主任 川本 龍資）

国際からのお知らせ

◇ 国際賞受賞のお知らせ

8月7日から10日にかけて開催されました第71回国際大会におきまして、傑出したお働きをされた西日本区会員各位に対して国際賞の授与がありました。その栄誉を讃えて、ご披露いたします。なお授賞式は部会にておこないます。

*エルマークロー賞	桂 厚子（京都ウエストクラブ）
*国際ブースター賞	久保田 雅彦（京都グローバルクラブ） 宮崎 隆二（熊本ひがしクラブ） 岩本 悟（熊本にしクラブ） 町田 宗一郎（熊本にしクラブ）
*YES 献金賞	大岩 英人（京都グローバルクラブ） 久保田 雅彦（京都グローバルクラブ） 澤田 賢司（京都グローバルクラブ） 山藤 哉（京都グローバルクラブ） 高瀬 稔彦（岩国みなみクラブ）
*EF オナロール賞	高瀬 稔彦（岩国みなみクラブ）



第71回国際大会 IP ナイト 国際会長スピーチ



国際会長(インド)
Isaac Palathinkal

私の夢と抱負「この一年に向けて」

・2014-2015 年度の私の国際会長主題は「言葉より行動を」、スローガンは「今すぐやろう！」です。私の主題とスローガンが世界中のワイズメン、メネット、ユース/コメットの皆さんが地域社会への奉仕活動について言葉で語るのではなく、行動することによってより多くの奉仕活動を行い、「今すぐやろう！」というスローガンの如く、遅延なく実行するよう奨励してくれるものと信じています。

・なぜ今すぐやる必要があるのでしょうか？

「人生とは一期一会です。私ができる善行も他者に対する親切も今しか実践できないのなら、やるのは今しかありません。人が人生で全く同じ道を歩むことは無いのですから、やるべき時は今なのです。」

・ワイズ運動の為に最も重要な以下の六つの目標を達成することが私の夢です。

1. 会員増強

ワイズ運動は困難な時期に差しかかっています。我々はワイズ運動を拡大していくことが極めて難しいと感じています。ここ何年も会員数は伸び悩んでいます。我々はワイズメンズクラブ国際協会設立 100 周年を迎える 2022 年の為に Vision 2022 を掲げました。それまでに会員数を最低 50,000 人にまで増強し、少なくとも 100 カ国にクラブを設立することを目標にしています。

Vision 2022 を実現する為には内省しなくてはなりません。EMC の為に我々は何をしているか？我々はやるべき事に真剣に取り組んでいるか？会員数が伸び悩んでいる事に関してへたな言い訳をしていないか？どうか自らを省みて、意識を覚醒し、やるべき事を行って下さい。私たちが死んだ後もワイズ運動は継続しているかねばなりません。私の夢は会員増強であり、2014-2015 年度末までに少なくとも会員数を 33,000 人に増やし、それ以降は毎年 10% ずつ増やしていくのが私の夢です。

2. 国際プログラムとプロジェクトに献身的に取り組むこと

我々は地域社会の為に多くの価値あるプロジェクトを継続的に行ってきました。その中でも TOF と RBM (ロールバック・マラリア) は、最も顕著な国際プロジェクトです。EF は、我々の組織の成長に必要なファンドが特に不足しているため、組織の成長の為に必要です。その他の国際プロジェクトも同様に重要です。我々の組織がそれらのプロジェクトを継続的に支援し、毎年少なくとも 10% 寄付金を増額していくことが夢です。

3. 地元地域社会への奉仕活動に献身的に取り組むこと

我々は援助と慰めを必要としている多くの人々がいる地域社会に住んでいます。豊かな国においてさえ援助と慰めを必要としている人々が存在し、財政面ではなく、道徳的精神的に助けを必要としているのです。

我々はそういった人たちの為に最大限の奉仕をしているのでしょうか？

その奉仕活動において素晴らしい活動をしている区を知っています。そこでは募金活動のプログラムを実施し、区の内外から寄付金を集めています。その区は、過去三年間にガン・緩和ケア病棟の為に 17 台の在宅ケア車両兼救急車を提供し、腎臓を患っている貧しい人々の為に 15,000 回以上の無料人工透析を実施し、5 台の人口透析器を寄付しました。それを三年間で行う事は容易ではありません。今年は 100 回の心臓切開手術の支援を無料でやり、ワイズメンズ・ビレッジという場所に住んでいる貧しい人々に 14 の住宅を寄付したりなどする予定です。その区から学ぶべきことは多くあります。私はいくつかの区やエリアがこのような奉仕活動において優れた活動をしていることを承知しています。

4. YMCA との協働関係の強化

我々の育ての親である YMCA とワイズメンズクラブ国際協会との関係は相互に最も重要な関係です。現在の両者の協働関係は過去にないほど活発です。アジア太平洋 YMCA 同盟と我々は既に様々なレベルでパートナーシップ原則と了解覚書に調印しています。両組織はそこで留まってはなりません。YMCA とワイズメンズクラブ国際協会はその殻を破って真の協働関係を築かなければなりません。私は YMCA の支援を得て少なくとも 30 のワイズメンズクラブが誕生する一方で、ワイズメンズクラブが YMCA のチェンジ・エイジェントプログラムを支援したり、新しい YMCA のスポンサーになることで恩返しすることを夢見しています。

5.国連プロジェクトとの連携

国連及び国際赤十字との連携による RBM プロジェクトは、貧しい人々の為の国際的な奉仕活動の最も重要な活動です。我々の RBM プロジェクト支援が今後何年かの内に何倍にも拡大し、他の世界的な組織と協力することによって人類の発展の為に活かされると共に、我々の環境を豊かにするプログラムを通じて世界をより住みやすい場所にする為に活かされることを夢見ています。

6.ワイズ週間を祝うこと

ご存知のようにワイズメンズクラブ国際協会の創始者である Paul William Alexander は 1888 年 12 月 8 日に生まれました。私は 2014 年 12 月 7 日から 13 日の 1 週間を世界中のワイズメンが「ワイズ週間」として祝うことが賢明であると考えます。それぞれのエリアは既にこの考えを受け入れて 12 月 7 日から 13 日までの 1 週間もしくは、エリアの事情に応じて都合の良いそれ以外の 1 週間を「ワイズ週間」として選択しました

地元クラブ、部レベルで広報活動を最大限に行う。

我々は「強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う」という我々のモットーに基づいて地域奉仕活動を行っていますが、そのことを適切な手段を講じて一般大衆に伝えなければなりません。「ワイズ週間」を新たな主要な地域奉仕活動を始める 1 週間として選んでください。「ワイズ週間」を 1 年の会員増強週間と捉えて我々のクラブ/ワイズ運動に新会員を入会させましょう。「ワイズ週間」の間に我々の国際的なプロジェクトである RBM や TOF の為に最大限の寄付金を集めること、それらが、「ワイズ週間」で実現したいと私が夢見ていることなのです。

おわりに

さて、ワイズの友人の皆様、全ての良いことには終わりがあります。ここで私の夢についての話も終わりになります。

1 人 1 人の努力が驚くべき成果につながる可能性があります。しかし、一致団結して努力すると歴史を作ることができます。さあ一緒に歴史を作ろうではありませんか。言葉より行動を、今すぐやろう！ (各国語で) ありがとう。



※ 理事事務局より訂正のお願い！

過日配信いたしました「宛名ラベルの住所録」におきまして「神戸ポートクラブ森恭子会長」の住所が旧住所の芦屋のままになっています。「神戸」に転居されていますので、今期のロースターに掲載しています住所に変更をお願いいたします。ご迷惑をおかけしました関係各位にお詫び申し上げます。

理事通信への掲載

「クラブの周年行事」や「クラブ事業」などを西日本区の皆さまにお知らせしたい時は理事通信をご利用下さい。毎月 25 日までにメール文章で、理事事務局宛お送り下さい。



理事事務局長 石津雅人 (大阪センテナアルクラブ)

E-mail : osaka@m-ishizu.com